

神奈川県立がんセンター麻酔科レジデント研修評価表（年次）		
レジデント	期（氏名）	2022.3 ver.1 レジデントは太枠内を記入
指導医		
研修期間	年 月 日 ~ 年 月 日	
麻酔科専門研修としての下記の目標について自己評価をするとともに、指導医による評価も受ける。		
	A:修得したB:ほぼ修得したC:目標に達しない	
	自己評価	指導医評価
1. 術前評価・診察		
1) 術前評価の目的を理解している	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
2) 術前評価に必要な情報を列挙できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
3) 手術麻酔の方法を説明できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
4) 得られた情報から麻酔リスクを列挙できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
5) 適切な麻酔方法を選択できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
6) 患者さんに適切な方法で術前説明を行える	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
2. 麻酔準備		
1) 周術期継続薬・中止薬をあげその理由を説明できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
2) 術前絶飲食の意義を理解し指示を出せる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
3) 麻酔器の取り扱いと始業点検ができる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
4) 気道確保器具を準備できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
5) 気道確保を安全に実施できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
6) 困難気道への対応を説明できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
3. 麻酔管理		
1) 区域麻酔の適応、禁忌を理解している	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
2) 脊髄くも膜下麻酔を安全に実施できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
3) 硬膜外麻酔を安全に実施できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
4) 伝達麻酔を安全に実施できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
5) 全身麻酔を安全に維持できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
6) 全身麻酔中の呼吸管理を安全に実施できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
7) 全身麻酔中の循環管理を安全に実施できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
8) 麻酔の覚醒と人工呼吸の離脱を安全に実施できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
9) 麻酔からの回復を評価できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
3. 術後管理		
1) 術直後の合併症と対応を説明できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
2) 術後回診を行い麻酔後評価を実施できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
4. 集中治療・緩和ケアについて		
1) 集中治療の適応を理解している	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
2) 人工呼吸や血液浄化の適応を理解している	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
3) 適切な方法で鎮静を行える	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
4) 人工呼吸器呼吸中の呼吸機能評価を実施できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
5) 輸液や血管作動薬による循環管理を実施できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
6) 高カロリー輸液などによる栄養管理を実施できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
7) 検査や培養などにに基づき感染症の治療を実施できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
8) 人工呼吸器からの離脱を実施できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
4. 集中治療・緩和ケアについて		
1) 緩和ケアの適用を説明できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
2) 緩和ケア導入のコンサルテーションができる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
3) 鎮痛薬による症状緩和を理解している	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
4) 鎮痛薬による症状緩和を実施できる	A ・ B ・ C	A ・ B ・ C
自由記載欄：（欄不足の場合は裏面へ）		
評価： 年 月 日 判定： 優・良・可・不可		
指導医記載欄：		

提出方法:レジデントは研修期間終了時に自己評価を記入して指導医に提出し、指導医は指導医評価を記入後1ヵ月以内に総務企画課に提出すること。